教育研究所だより 東雲

第２５８号
２０１６年７月１５日（金）

検証授業②山城昌義先生(白川小学校)小学校国語「児童が主体的に読む力を育むための指導の工夫」

検証授業②は山城昌義先生(白川小学校)の国語の授業でした。山城先生は国語の説明文教材を使い、児童が主体的に読む力をつけていくための研究を進めています。

そのために①毎時間の課題を明確に把握させること、②学習形態を工夫しながら学び合いををすることで、主体的に学習に取り組めるように研究を深めてきました。

本時の授業では、これまでの学習を振り返りながら自分が興味を持った本を読んでその内容を説明する文を交流することがねらいでした。児童は興味を持った本をそれぞれ選び、一生懸命読み込んで友だちに説明しようと学び合いを進めていました。

廊下には児童が興味を持てるように並行読書用の本が整然と展示されたり、掲示板にこれまでの学習の流れが一目でわかるように掲示する等、学習環境を整え、児童の学ぶ意欲を継続させる工夫が満載の授業でした。

検証授業②(白川小)
平成28年7月4日(月)
山城昌義先生
「ヤドカリと
イソギンチャク」

話合いの中から多様な考えを引き出す。

校長先生も授業観察

検証の視点

①明確な学習課題を提示し、児童自身が学習の流れを把握して、課題を解決するために主体的に読みを進めている。
②目的を持った学び合い活動を行うことで、自他の考えの違いや良さから、自らの考えを再構築して、さらに読みを深めている。
③振り返りの活動において、めあてにそった自己評価を行うことで、児童が本時の目標の達成感を実感している。

多くの参観者が子どもたちを激励

授業の流れが一目でわかる掲示物

授業のために関連する書物を図書館より借用

山城昌義　研究員

今回の本検証授業は課題8成果2の授業でした。まだ授業は終えていませんが、今回の授業から学んだことは大きな糧となりました。授業研究会で皆さんからの質疑に答える中で自らの大きな課題を確認し、手だての弱さ、見取り、対応の甘さを実感しました。

指導講師の宮平先生からは、「研究したからすべてがうまくいくとは限らない」「この経験を次の説明文の指導に活かして」と指導を受けました。

今回うまくいかなかった部分は今後の研究課題として改善していきたいと思います。今後も自己研鑽を重ね授業力を高めていきたいと思います。

導入に使用したポスターは効果的だった

指導講師の宮平先生、平田校長を囲んで

検証授業参観ご協力のお礼

今期より検証授業の日程を午後に設定し、学校関係者、各教科団体の参観増をお願いしております。学期末の公務多忙な中、参観に駆けつけていただいた先生方、ご協力本当にありがとうございました。